

沖縄周辺海域で 10 月の海面水温が過去最高

沖縄周辺海域の海面水温は、10 月の上旬と中旬に平年よりかなり高い状態が続いたため、東シナ海南部及び沖縄の南の海域では、10 月の月平均海面水温の平年差がそれぞれ+1.4℃、+1.2℃（ともに速報値）となり、海面水温の解析値が存在する 1982 年以降 10 月としては最も高くなりました。

1. 沖縄周辺海域での 2017 年 10 月の海面水温

沖縄周辺海域の 2017 年 10 月の海面水温は、台風第 21 号及び台風第 22 号の影響を受けた下旬を除いてかなり高くなりました。東シナ海南部(図 1 緑枠)及び沖縄の南の海域(図 1 青枠)では、2017 年 10 月の平均海面水温がそれぞれ 27.3℃、29.1℃(速報値)となり、平年よりそれぞれ 1.4℃、1.2℃高く、海面水温の解析値の存在する 1982 年以降 10 月としては最も高くなりました(図 2 及び表)。

2. 海面水温が高くなった要因

2017 年 10 月の沖縄周辺海域では、上旬は日射量が多かった影響で、中旬は太平洋高気圧の縁を回る暖かい空気の影響で海面水温の低下が抑えられました。このため、海面水温がかなり高い状態となり、月平均でも 10 月としては最も高くなりました。

海面水温の最新の状況と見通しは、「海洋の健康診断表 海面水温・海流(沖縄周辺海域)」をご覧ください。

http://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/data/shindan/f_6/jun_OK/kaikyo_OK.html

本件に関するお問い合わせ先：地球環境・海洋課
電話：098-833-4065

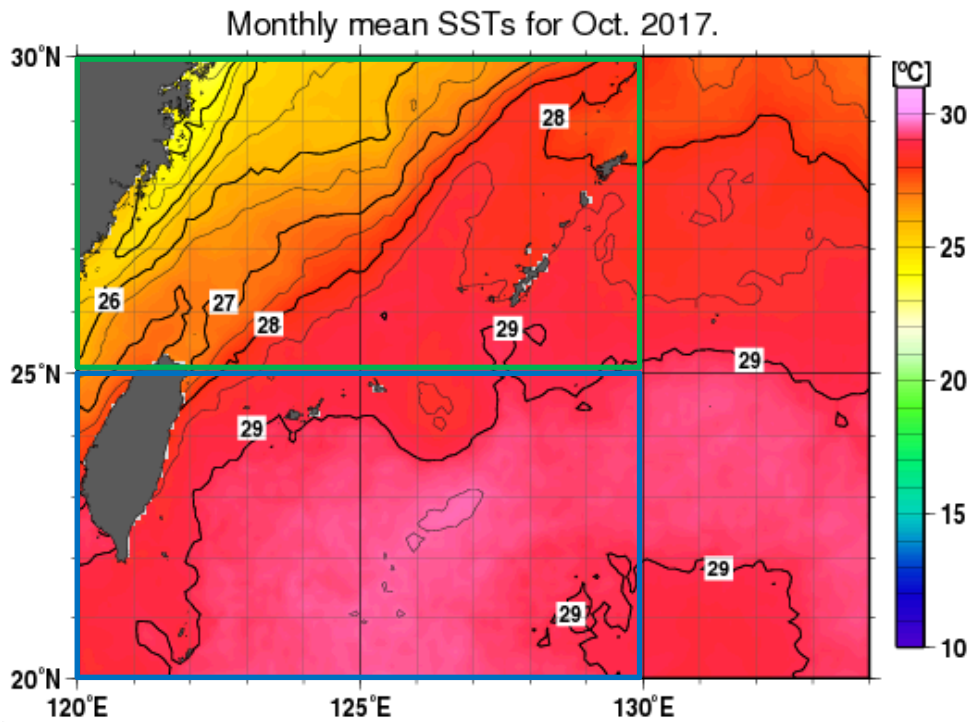


図 1 : 沖縄周辺海域の月平均海面水温分布図(2017年10月)(速報値)

図中の緑枠(北緯25~30度、東経120~130度で囲まれた領域)は「東シナ海南部海域」、青枠(北緯20~25度、東経120~130度で囲まれた領域)は、「沖縄の南の海域」として海面水温を平均する領域を示します。

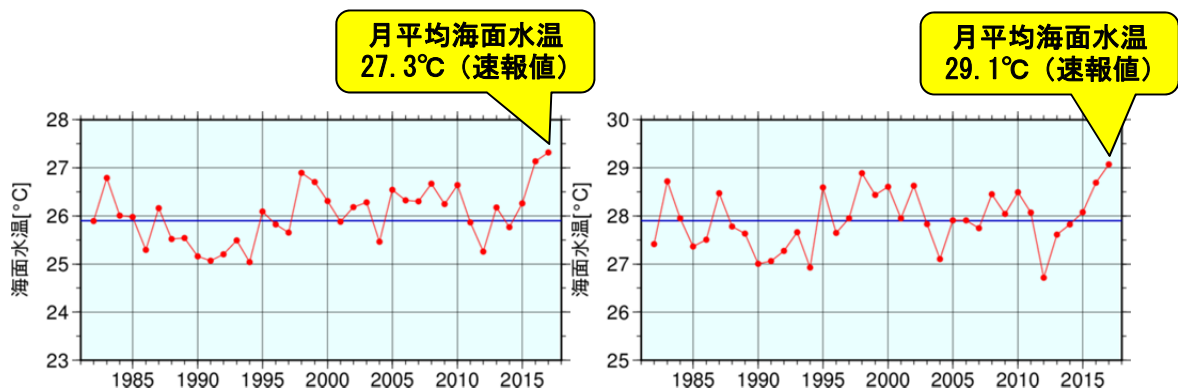


図 2 : 10月の月平均海面水温の経年変化

(左:東シナ海南部海域、右:沖縄の南の海域)

人工衛星とブイ・船舶による観測値から解析された海面水温。青線は平年値(統計期間:1981年~2010年)。2017年の値は速報値。

東シナ海南部			沖縄の南		
年	平均海面水温 (°C)	平年差 (°C)	年	平均海面水温 (°C)	平年差 (°C)
2017	27.3	+1.4	2017	29.1	+1.2
2016	27.1	+1.2	1998	28.9	+1.0
1998	26.9	+1.0	1983	28.7	+0.9

表：沖縄周辺海域で10月の月平均海面水温が高かった年（上位順）

2017年の値は速報値。